

市長定例記者会見資料



平成 31 年 4 月 18 日	
所 属	文化振興担当
所属長	松長 昌男
電 話	06-6489-6017

アウクスブルク市での記念式典に尼崎市長・代表団を派遣 ドイツ在住世界的指揮者 大植英次さんを迎え両市の高校生による合同演奏 ～尼崎市とアウクスブルク市が姉妹都市提携 60 周年を迎えました～

1 ニ崎市とアウクスブルク市との姉妹都市提携の経緯

アウクスブルク市と姉妹都市提携を結んだのは昭和 34 (1959) 年 4 月 7 日。これは日本とドイツの間で最初に結ばれた姉妹都市提携です。きっかけは日本で世界最小のディーゼルエンジンが開発されたこと。本市にディーゼルエンジンの工場があり、その発祥の地であるアウクスブルク市の当時の市長が親日家だったことから、本市とアウクスブルク市が姉妹都市提携をしました。

昭和 46 年から続いている青年使節団の相互派遣や周年事業に両市の代表団を相互派遣するなど友好を深めてきました。姉妹都市提携 50 周年は本市で記念事業を実施し、アウクスブルク市から代表団等を受け入れました。尼崎市市制 100 周年にもアウクスブルク市から代表団を受け入れ、尼崎市民と交流していただきました。さらに、昨年より若手アーティストの相互派遣を実施しています。

2 姉妹都市提携 60 周年記念事業

アウクスブルク市との友好交流を一層深めるとともに、市民レベルの国際親善や相互理解を促進するため、市長を団長とする尼崎市代表団等をアウクスブルク市に派遣し、周年記念を祝う各種行事に参加するほか、世界的指揮者・大植英次氏を迎え、尼崎市とアウクスブルク市の高校生の合同コンサートを行ったり、市民グループが大正琴の演奏をしたりするなど、さまざまな交流を行います。なお、本市高校生は、アウクスブルク市の一般家庭にホームステイし現地の方々との交流を深めます。

また、4 月 28 日(日)午後 3 時 30 分～4 時、尼崎双星高校 3 階多目的ホールで合同コンサートに向けて事前練習を実施します。

(1) 派遣する使節団

- ① 市長を団長とする 8 人の代表団 (市長、議長、教育長、随員職員 4 人、民間から広報・記録担当 1 人)
- ② 尼崎市立高校生吹奏楽団 (尼崎高校 15 人、尼崎双星高校 15 人、随員教員 2 人)
- ③ 市民団 (尼崎市国際交流協会を中心とする 16 人、大正琴グループ万華鏡 8 人)

(2) 記念事業の内容

- ① 姉妹都市提携 60 周年記念式典
アウクスブルク市庁舎「黄金の間」にて
尼崎市・アウクスブルク市の高校生による合同吹奏楽演奏
- ② 大植英次氏による吹奏楽レッスン・コンサート
アウクスブルク市庁舎「黄金の間」にて

ドイツ在住の世界的指揮者 大植英次氏を迎え、平成 29 年度からあましんアルカイクホールで開催している本市高校生による吹奏楽レッスン・コンサート事業をアウクスブルク市の高校生と合同で開催。同コンサートは姉妹都市交流のきっかけとなりましたヤンマー株式会社を母体とする一般財団法人山岡記念財団から支援を受けて開催しています

③ 日本春祭り（独日協会アウクスブルク・シュヴァーベン主催）

アウクスブルク市植物園内日本庭園にて

尼崎市の大正琴グループ万華鏡による演奏

④ アウクスブルク・モーツァルトフェスト

アウクスブルク市「小さな黄金の間」

アウクスブルク市の招待によりオープニングコンサート・セレモニーに参加

⑤ 独日の夕べ（アウクスブルク・インターナショナル主催）

アウクスブルク市内の醸造所にて

大正琴グループ「万華鏡」による演奏

⑥ 尼崎市高校生による「感謝の夕べ」

アウクスブルク市ザンクト・シュテファン高校にて

お世話になったホストファミリーや関係者に感謝の意を表し交流会を開催

⑦ 写真展

アウクスブルク市庁舎「玄関の間」にて

平成 30 年度アウクスブルク市派遣アーティスト ザラ・ヘントリジアク氏が本市滞在中に撮影した「尼崎市の風景」の写真展

■代表団の行程（予定）

日数	日付	行程	宿泊地
1	5月9日(木)	尼崎市→関空→ミュンヘン →アウクスブルク	尼崎市→関空→ ミュンヘン→ アウクスブルク
2	5月10日(金)	アウクスブルク (60周年記念式典)	アウクスブルク
3	5月11日(土)	アウクスブルク (吹奏楽部レッスン・コンサート、モーツァルトフェスト)	アウクスブルク
4	5月12日(日)	アウクスブルク (独日協会主催:日本春祭り) (アウクスブルク・インターナショナル 主催:独日の夕べ)	アウクスブルク
5	5月13日(月)	アウクスブルク→ミュンヘン空港→	機中泊
6	5月14日(火)	関空→尼崎市	

以 上